



水道橋畔発

第 25 号 平成 28 年 12 月

10月13日医療連携報告会が開催されました。



巻頭言

東京歯科大学水道橋病院
病院長 矢島 安朝

2016年もあっという間に過ぎてしまい、今年も師走を迎えてしまいました。先生方には本年も水道橋病院が大変お世話になり、誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

さて、本年の水道橋病院医療連携報告会は10月13日に血脇ホールで、約205名の紹介医の先生方をお迎えし無事に行うことができました。今回の演者は、一戸教授と柴原教授にお願いし、歯科医師として必要な全身状態の把握や薬剤関連顎骨壊死の新ガイドラインについてご講演いただきました。会場全体には演者お二人の熱気が伝わり、すべての先生方が真剣に聞き入っている姿が大変印象的でした。講演後は、本

年3月に竣工しました西棟のラウンジで、懇親会が催され楽しいひと時となりました。お忙しいところご来場いただきました先生方には、職員一同心から感謝申し上げます。

水道橋病院の改築工事も来年の3月にすべて完了いたします。現在、3階の障がい者歯科の新設工事、4階放射線科と歯科麻酔科の拡大工事、4階入院病棟の改築工事が行われております。今まで約5年間にわたる工事により、患者様はじめ紹介医の先生方にも大変なご迷惑をおかけいたしました。いよいよ3か月後には、新しい水道橋病院がオープンいたします。最新の設備や機器を準備し、職員一人一人の「思いやりの心による医療」にもさらに磨きをかけ、職員一同誠心誠意頑張っておりますので、来年も何卒よろしく願い申し上げます。

準備委員長より挨拶

地域医療連携室長・副病院長
山下 秀一郎

水道橋病院では、地域医療連携に関わる先生方との交流を深めるために、毎年「医療連携報告会」を開催しております。今年度の報告会は、「全身状態を把握して診療にあたっていますか？」というメインテーマの下に、歯科麻酔学講座の一戸達也教授には「外来手術：こんな検査値は要注意」、口腔顎顔面外科学講座の柴原孝彦教授には「BRONJ：やってはいけないこと、仕方のないこと」の2講演をお願い致しました。超高齢社会の医療を考える上で非常にタイムリーな内容であり、講演後も多くの質問が寄せられ、会場の血筋記念ホールは熱気に包まれておりました。また今年度は、新築された西棟の見学会を講演前に行うとともに、報告会終了後の懇親会も西棟1階のラウンジで行うなど、趣向を凝らしてみました。お陰様で、学外からは昨年より100名程度多い205名の参加者をお迎えし、学内と合わせた総勢306名と共に盛会裏に終わることができました。本学と医療連携機関との絆をより一層強めることができたのではないのでしょうか。

外来小手術：こんな検査値は要注意

歯科麻酔学講座教授
一戸 達也

超高齢社会の昨今、歯科を受診する患者さんの多くが何らかの医科疾患を合併しています。したがって、これらの疾患の内容とその重症度を十分に把握して診療に当たることが必要です。重要なことは「疾患名」ではなく「疾患の重症度」です。この疾患の重症度を把握する指標のひとつが検査値です。

私達、歯科麻酔科医が患者さんの検査値のうち特に注意して見ている主な項目を以下に示します。

- 1) 心臓超音波検査の左室駆出率 (EF): 60% 以上が正常 (50% 以上が望ましく、心不全で低下)
- 2) 脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP): 20pg/mL 未満が正常 (100pg/mL 以上は心不全)
- 3) HbA1c (NGSP): 長期的な合併症予防のために 7% 未満が望ましい
- 4) PT-INR: 1.0 が正常 (ワルファリンカリウム常用や肝機能低下で上昇)
- 5) コリンエステラーゼ (ChE): 200-500IU/mL 程度 (100IU/mL 未満ではタンパク合成障害による創傷治癒不全)
- 6) 推算糸球体濾過量 (eGFR): 90mL/分/1.73m² (体表面積) 以上が正常 (60mL/分/1.73m² 未満は腎不全)

主治医から得られた診療情報提供書の常用薬だけでなく、ぜひ検査値にも目を向けていただき、「危険な患者さん」を発見して水道橋病院との医療連携を活用していただければと思います。

東京歯科大学水道橋病院 医療連携報告会・懇親会

【第1部 医療連携報告会】

司 会	地域医療連携室長・副病院長 山下 秀一郎
開会挨拶	病院長 矢島 安朝
講演①	歯科麻酔学講座教授 一戸 達也 「外科小手術：こんな検査値は要注意」
講演②	口腔顎顔面外科学講座教授 柴原 孝彦 「BRONJ：やってはいけないこと、仕方のないこと」
閉会挨拶	地域医療連携室長・副病院長 山下 秀一郎

【第2部 懇親会】

司 会	地域医療連携室長・副病院長 山下 秀一郎
開会挨拶	病院長 矢島 安朝
乾 杯	地域医療連携委員会学外委員 白田 準
歓 談	
閉会挨拶	副病院長 末石 研二

BRONJ：やってはいけないこと、仕方のないこと

口腔顎顔面外科学講座教授
柴原 孝彦

BRONJへの関心が高まっています。2016年8月に、2010年、2012年に次いで4年ぶり3度目の医科歯科6学会の顎骨壊死検討委員会による改訂版が刊行されました。前回2012年からの大きな変更点として、「医科歯科との密接な連携」「適切な歯科治療」が挙げられます。残念ながらBRONJ発生は前回の約19倍に増加、ステージ2（感染を併発し腐骨形成）が多くを占めていることが判明しました。本来 position paper は BRONJ の治療方針を客観的に示す文書であるべきなのに、実際は BP 製剤服用患者の歯科医療に混乱を招き「BRONJ 難民、抜歯難民」を創った実態が示されました。多くの歯科医師は BRONJ への対応に誤解があったようにも受け取れます。今回の日本版 position paper 発刊を機に、歯科医師は改めて正しい対処法を認識する必要があります。BP 服用前における P, Per を含めた事前歯科治療、BP 服用中における口腔ケアを中心とした口腔管理は必須です。また場合によって抜歯等の侵襲的歯科処置も躊躇せず選択する必要があります。BRONJ 発生の予防には、医師と歯科医師の緊密な連携こそが最も重要です。

リニューアルした診療室のご案内

3階矯正歯科



受付：診療室が広くなり、予約もとりやすくなりました。

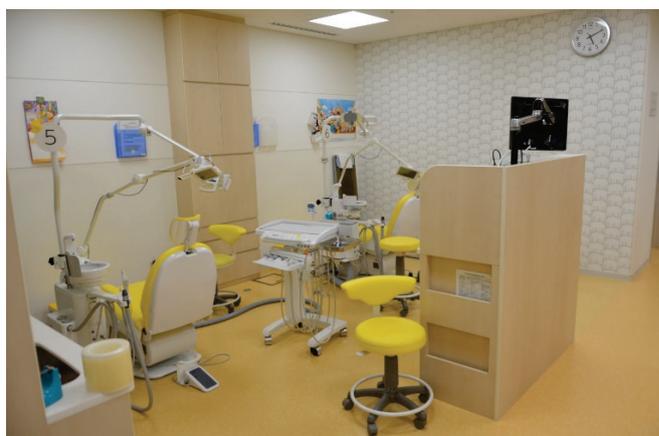


診療室：チェアも増え、プライバシーに配慮しました。

3階小児歯科・ 障がい者歯科



待合スペースに子供が釘付け。



清潔感あふれる診療室です。

4階臨床検査室



新たに、病理検査も開始しました。



一コラム一 「ジャンナーの法則」

歯科保存学講座
教授 古澤 成博

早いもので今年も師走の忙しい季節を迎えました。紅葉がそろそろ見頃だなどと感じていたのも束の間、商店街ですでにクリスマスソングが流れています。今年は第6学年の学年主任を務めているせいか、本当に1年がアッという間に過ぎ去りました。

最近では、歳のせいか1年が通り過ぎるのが速過ぎて、立ち止まって思考する暇もない状況です。皆さんは「ジャンナーの法則」というのを御存じでしょうか？19世紀のフランスの哲学者ポール・ジャンナーが発案した法則で、主観的に記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられるという現象で、これを心理学的に評価したものです。簡単に言えば、生涯のある時点における心理的時間の長さは年齢の逆数に比例する、すなわち年齢に反比例するという学説です。毎年毎年1年があっけなく過ぎ去っていくのは、歳のせいでは

はなく、ジャンナーという、きちんとしたエビデンスがあったのです。

例えば、50歳の人間にとっての1年という長さは今までの人生の50分の1ですが、5歳の子供にとっては人生の5分の1、50歳の人間にとっての10年間で5歳の1年間に相当するということになります。自分が子供の頃のことを思い出してみると、小・中・高の12年間や、本学で過ごした大学生時代の6年間も、アッという間という感じではなく、数多くの思い出がありますが、今や10年間などアッという間。思い出などというものも、良く考えてみないと出てきません。このような感覚は誰にでもあることなのではないでしょうか。

今、第6学年の学生たちと身近に接していて、国家試験までの苦しい道のを頑張っている姿を見るにつけ、我々の世代で感じる時間的感覚よりも遥かに長い時間をプレッシャーに耐えながら苦しんでいるのだということ、常に考えてあげないといけないと思っています。今の時期の思い出が、将来彼らの中で苦しくも楽しかった思い出になり、それぞれアッという間に過ぎ去って行く日々の中で、徐々に再会した友人達と楽しく語り合っほしいものだと感じているこの頃です。

【各診療科等ダイヤルインについて】

※患者さまには各科の直通電話番号をお知らせ下さいますようお願いいたします。

5階	内科	03(5275)1926
4階	口腔外科	03(5275)1725
	歯科麻酔科・ ペインクリニック科	03(5275)1851
	放射線科	03(5275)1953
3階	補綴科	03(3262)3425 3426
	口腔インプラント科	03(5275)1760
	矯正歯科	03(5275)1724
	小児歯科・ 障がい者歯科	03(5275)1723
	眼科	03(5275)1856
2階	保存科	03(5275)1721 1722
	摂食嚥下 リハビリテーション科	03(5275)1732
	健康スポーツ歯科	03(5275)1721 1722
1階	医事課	03(5275)1932
	地域医療連携室	03(5275)1732

水道橋病院 診療案内

初診受付	平日、土曜とも 8:50～11:00
お問い合わせ時間	平日 8:45～18:00 土曜 8:45～13:00
休診日	第2土曜、日曜、祝日、 本学創立記念日(2月12日)、 年末年始

年末年始診療のご案内

平成28年12月29日(木)～
平成29年1月4日(水)まで、休診となります。
※平成29年1月5日(木)は9:30から診療を開始いたします。

編集後記

大学移転に伴う診療室の改装工事も大詰めを迎えています。前号で工事中だった矯正歯科は、8月から3階の新しい診療室における診療が始まりました。技工室が西棟へ移動したためその分広くなり、チェアも2台増えて患者様からも好評をいただいています。11月からは小児歯科、臨床検査室も新しくなりました。現在は麻酔科と放射線科、口腔外科病棟の工事が始まり、麻酔科は2階で診療。手術は2月まで出来ず、患者様にご迷惑をおかけしております。次号では最終的な水道橋病院をご紹介しますと思います。(片田英憲 記)